

独立行政法人国立高等専門学校機構

新居浜工業高等専門学校 創立50周年記念式典 市長祝辞

独立行政法人国立高等専門学校機構 新居浜工業高等専門学校創立50周年記念式典が挙行されるにあたり、心からお喜びを申し上げます。

本校は、昭和37年4月に実践的技術者の育成という産業界の強い要請にこたえて、5年間一貫教育の工業高等専門学校として設置されました。

以来ここに50年、校舎、体育施設はもとより、最新鋭機械器具を完備した実験実習施設が整備された、時代の要求に応える工業高等専門学校として、各種特色ある校風を整えられてまいりました。

この間、幾多の苦難を克服され、ご努力を賜りました歴代の校長先生をはじめ、教職員の皆様方のご苦勞に対しまして、心より深く敬意を表しますとともに、学校運営の各般にわたりご協力を賜りました保護者の皆様、すべての関係の皆様に対しまして心から感謝を申し上げます。

さて、最近の経済情勢に目を転じますと、昨年3月11日に発生した東日本大震災、福島第一原子力発電所の事故、また大型台風の相次ぐ上陸による記録的被害など、日本を揺るがす大災害に伴う経済の大幅な減速懸念により、雇用情勢、地方経済等の先行きは全く不透明なものとなっております。

こうした大変厳しい状況の中にあつて、いつの時代にあつても、社会の各般から大いに求められるのは、様々な状況に対応しうる実践的学力と創造性並びに行動力を兼ね備えた人材であり、本校の教育理念、教育方針は、誠に当を射ているものでございます。

本校は、全国の高専の中で、最も歴史の古い学校の一つであり、その学問のレベルの高さ、教授の陣容、施設の充実度など、いずれの面においても、我が国を代表する高等専門学校でございます。

卒業生の皆様は、日本のみならず世界各国におきましても、技術者の最先端でご活躍されておられると伺っており、今後も本校から多くの優秀な技術者を世に送り出されるものと、大きく期待をいたしております。

結びにあたり、独立行政法人国立高等専門学校機構 新居浜工業高等専門学校の今後ますますのご隆盛と、本日もご臨席の皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げまして、創立50周年記念式典に当たりましてのお祝いのご挨拶とさせていただきます。

本日は、誠におめでとうございます。

平成24年4月21日

新居浜市長 佐々木 龍